

2/14 第2回埼玉県との定期協議

2024年度埼玉県への要望に対する回答を受領しました



埼玉県消費生活課中康博課長(右)と回答を受領する吉川尚彦会長理事
埼玉県から、7月の第1回定期協議で提出した「2024年度埼玉県予算編成および行政執行に関する要望」に関する回答と2023年度に実施した生協検査の報告がありました。埼玉県生協連から、生協連およびコープみらいや医療生協さいたまの取り組みについて報告しました。

2/5 埼玉県食品衛生安全局と消費者団体との懇談会

埼玉県食品衛生監視指導計画やフードテックなどについて懇談しました



埼玉県食品衛生安全局から9人、消費者団体から9人が参加しました
埼玉県からは、埼玉県食品衛生監視指導の到達点と令和6年度の計画、鳥インフルエンザや豚熱の発生状況などについて説明いただきました。消費者からは、「フードテック」についてリスクコミュニケーションの要望などを伝えました。

11/11 埼玉県補助事業 4都県生協連共催企画

「どうする若者、どうするわたしたち ~若者との対話から、未来を考える~」を開催



和やかにフリップディスカッションが進められました
今回は3年目となる東京都生協連・千葉県生協連・神奈川県生協連・埼玉県生協連共催による学習会を開催しました。今年は、様々な社会活動や意見の発信などに積極的に活動する能條桃子さん(NO YOUTH NO JAPAN代表)、高橋悠太さん(カワカ広島共同代表)、都築利彦さん(NPO法人ORIGAMI理事長)にご登壇いただき、若者たちの価値観や視点と彼らが目指すこれからの社会について、お話しいただきました。会場およびオンラインなどで104人が参加しました。

3/14 埼玉県委託事業 インターネット適正広告推進事業

「インターネットでの契約“広告”の落とし穴」をテーマに講座開催



NPO法人埼玉消費者被害をなくす会が、埼玉県より委託を受け、実施しています

県立狭山経済高校1~2年生約400人を対象に、景品表示法啓発講座を実施。消費生活相談員の鎌田伊津子さんを講師に、契約の基本ルールやインターネットを通じたトラブル事例などについて、クイズを交えて注意点を確認しました。成年年齢引き下げに伴い若者に多発している副業トラブルについて、教師3名の協力による迫真の演技で啓発しました。

2/1 埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会

「意外と多い高齢者の低栄養 ~ちょっとした工夫でもっと健康に~」を開催



参加者からは次々に質問が出されました
東上パールビルディング川越およびオンラインで開催、15団体65人が参加しました。医療生協さいたま大井協同診療所の保健師 河上 亮子さんを講師に、フレイルとその予防の3つのポイントは「身体活動」「社会参加」「栄養」であり、高齢者の低栄養が隠れた健康問題になっていること、70代からは「メタボリック予防」の食事から、「フレイル・低栄養予防」へギアチェンジが求められること、また、オーラルフレイル予防の重要性についてもお話しいただきました。

3/6 JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生活協同組合連合会との第29回早春交流会

「お互いの組織を知る」をテーマに開催



第29回早春交流会をこくみん共済 coop会議室で開催し、JA12人、生協28人、計40人が参加し、交流しました。「組織と活動」について、それぞれ報告し、午後からは6グループに分かれて、交流しました。久しぶりの完全対面開催で会場は熱気に包まれました。

SAITAMA
2024 春号
No.89
(2024年4月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌
写真ニュース



Top News

1/24 埼玉県生協連新春賀詞交換会 各界を代表する皆様にご出席いただきました



埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝え、生協への共感を広げるとともに、ネットワークをさらに深めることを目的に、2024年新春賀詞交換会を、ロイヤルパインズホテル浦和21階スカイバンケットホールで開催しました。大野元裕埼玉県知事、立石泰広埼玉県議会議長をはじめ、埼玉県の各界を代表する皆様と会員生協役員職員63人が出席されました。開会にあたり、主催者を代表して吉川会長理事は、「埼玉県が掲げる『日本一暮らしやすい埼玉県』の実現を共有し、持続可能な地域社会への貢献と、組合員・県民のくらしのお役に立てるよう、事業と活動を行います」とあいさつしました。その後、ご来賓を代表して大野知事、立石議長よりごあいさつをいただき、歓談をはさみながら、埼玉県議会各党派、各界を代表する10人の皆様からごあいさつをいただきました。



吉川尚彦会長理事 大野元裕埼玉県知事



立石泰広県議会議長

12/18 埼玉県補助事業 助け合い活動交流会 各生協の助け合い活動報告とグループ交流しました



埼玉会館会議室を会場に、4生協(コープみらい・パルシステム埼玉・生活クラブ生協・医療生協さいたま)の組合員および事務局58人が参加し、交流しました。ミニ学習では、講師NPO法人パティチーム代表岡田妙子さんから、都内で子育てが大変になっている家庭や里親家庭を訪問して、保育や家事、送迎、学習支援等を行って、親子に寄り添う訪問型支援活動について報告いただきました。次に、各生協から、それぞれの活動のしくみや直近の特徴的な活動について報告し、その後、9つのグループに分かれて質問、交流しました。

2/20 埼玉県補助事業 埼玉県生協連第2回学習会 「しまねのおたがいさま」について学習しました



講師 野津久美子さん 講演に対して、多くの質問や意見が寄せられました
関心や情勢に合わせたテーマについて広く学ぶ学習会として、埼玉県生協連第2回学習会を「支えあいのしくみ」創り広げて... ~有償すけあいシステム「しまねのおたがいさま」の活動を原点に~と題して、地域つながりセンター事務局長の野津久美子さんにご講演いただき、多様な団体や人の連携による地域社会づくりについて学びました。埼玉会館会議室とオンラインで51人が参加しました。



生活協同組合コープみらい

知ることからはじめる! 「ゲノム編集食品」の基礎知識 開催



組合員施設「コーププラザ浦和」で開催

総代から「ゲノム編集食品」について多くの声が寄せられていることを受け、科学的根拠に基づく情報を発信する消費者団体である一般社団法人Food Communication Compassの代表森田満樹さんを講師にお迎えし、「ゲノム編集食品」についての基礎知識や国内の現状、暮らしへの関わりなどを学びました。埼玉エリアでは、オンライン参加を含む97人が参加し「中立的な立場の方の講演を聞くことができてよかった」「今回のお話を聞いて、品種改良、突然変異、遺伝子組換え、ゲノム編集の違いがとてもよく分かりました」等の感想が寄せられました。



医療生協さいたま生活協同組合

多世代食堂で季節の行事 「太鼓&餅つき」



つきたてのお餅はふわふわ!

多世代ふれあい食堂HAPPYくまここ(熊谷生協病院)は、楽しめる季節の行事も開催しています。昨年夏の花火大会には約100人が参加し、「花火する場所がないのでうれしかった」と大好評でした。1月には和太鼓&餅つき大会を開催。太鼓の演奏のあとは、参加者も太鼓をたたいて楽しみました。餅つきは、子どもたちも体験。「いつもよりおいしい」と笑顔が見られました。くまここLINEを見た人、デイケアの利用者や病院に来ていた方など100人を超える人が集まりました。



毎月第2土曜日に活動しています

生活クラブ生活協同組合

エネルギー政策提案 署名提出 院内集会「脱原発、脱炭素と再生可能エネルギーへの エネルギー転換の加速を求めます」



衆議院会館で政府に112,957筆の署名を手渡しました

2年ぶりの本格的な雪が前日降り、2月6日は寒い一日でしたが、会場となる衆議院第2会館では熱気を帯びた集会となりました。3.11の福島原発の事故以降、原発に対する風向きが強かった世論を翻し、昨年政府が原発推進に舵を切ったことへの市民・国民の声を届ける運動を、生活クラブ全体で行いました。集会にはリアルで94人、オンライン81接続、国会議員10人、議員秘書4人が参加。脱原発、再生可能エネルギーの推進を政府に訴える署名には、埼玉で10,741筆、生活クラブ全体で112,957筆が集まり、全国の生活クラブ各単協代表が集結し、政府に手渡しました。



生活協同組合パルシステム埼玉

「SAITAMA社会貢献賞」を受賞 商品配達時の フードドライブなどが評価

令和5年度 SAITAMA社会貢献賞表彰式



大野県知事(中央)から表彰状を受け取る樋口理事長(右) お寄せいただいた食品の一部

パルシステム埼玉は、毎週の配達時などの地域見守り、フードドライブ、県内市民団体との連携による食料支援や活動資金助成制度などの社会貢献活動が評価され、「SAITAMA社会貢献賞」を受賞しました。評価された取り組みのひとつ、フードドライブを2月に実施。宅配利用者へ家庭で眠っている食品の提供を呼びかけ、商品配達時に受け取りました。お預かりした食品はNPO法人フードバンク埼玉を通して、生活困窮者等へ提供されます。

さいたま住宅生活協同組合

協力業者会とともに 福祉施設の修繕ボランティア



さいたま住宅生活協同組合と協力業者会は、住宅施工に関する専門性を活かした社会貢献活動に初めて取り組みました。富士見市の障がい者生活支援施設「ゆいの里福祉会」において、2月13・14日で施設の傷んだ部分の修繕工事を行いました。施設から、費用や手間の関係で破損したところにもなかなか手がつけられないとお聞きしましたが、簡単な補修でも専門家の手が入ることで施設の大きな改善につながり、関係者の方々に大変喜ばれました。

こくみん共済 coop <全労済>

第50回 「小学生作品コンクール」を実施しました



版画部門：埼玉県知事賞
題名：「多彩」(5年生)

▲表彰式

こくみん共済 coop <全労済>では、社会貢献活動の一環として子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催し、今年で50回目を迎えました。今回のコンクールには埼玉県内の小学生から作文・版画の両部門あわせて354点の応募をいただき、「埼玉県知事賞」「こくみん共済 coop 埼玉推進本部長賞」をはじめとした各賞を選定しました。また、入賞者を集めた表彰式を2月17日(土)に開催し、笑顔あふれる子どもたちと充実した時間を過ごすことができました。

埼玉大学生生活協同組合

2024年新入生向け 「親子のつどい」を開催しました



埼玉大生協では3/16(土)・17(日)の2日間で「親子のつどい」を開催しました。2日間で対面48組、オンライン28組の新入生・保護者の皆さんにご参加いただきました。学生委員会の先輩達が履修やアルバイト、友達作りなど入学前に抱える悩みや不安解消を行いました。対面ではキャンパスツアーを実施したほか、当日同時開催した入学準備説明会の会場でパソコンなどの教材も手に取ってもらいました。